

科目ナンバー	GLS-2-011-k			科目名	海外フィールドワーク(台湾)		
教員名	張 渭涛			開講年度学期	2020年度 前期～後期	単位数	4
概要	海外フィールドワークでは、文化的にも地理的にも慣れ親しんだ自分の「ホーム」から離れて、異文化・異言語に満ちた世界を体験的に学習します。いままでの行動の「処方箋」や「解法」が必ずしも通用しない状況に対して驚きやカルチャーショックを体験するなかで、自国・自文化で「当たり前だ」と思っていたことがいかに特殊であるかを理解すると同時に、「アウェイだ」と思っていた社会・文化の事実や考えがいかに「理にかなった」ものかを深く理解することを目的とします。						
到達目標	①訪れる地域(台湾)に関する基本情報を習得する。 ②海外に出かけるための必要な手続きを確認し、旅する力を身につけていく。 ③ただ海外に行くのではなく、一つの取材・調査としていくという方法的な手法も身につける。具体的には、フィールドノートの書き方、フィールドでの観察・インタビューの構想、資料収集と整理の仕方、報告書の書き方までの一連の作業を体験的に学ぶ。 ④海外での体験や資料を通して、異文化理解・国際比較の視点を学ぶ。 ⑤コミュニケーションに必要不可欠な言語(中国語)能力を身につける。?						
「共愛12の力」との対応							
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力		
共生のための知識	○	自己を理解する力		伝え合う力	○	分析し、思考する力	○
共生のための態度		自己を抑制する力		協働する力		構想し、実行する力	○
グローバル・マインド	○	主体性		関係を構築する力	○	実践的スキル	
教授法及び課題のフィードバック方法	常に受講生全員と教員が討論・相談する形で行う。基本的に演習型である。必要に応じて、ミニ実験、グループワーク、ミニ講義など多様な方法を取り入れる。フィールドワークの内容、方法を考えるためのアイデア・発想のため、映画などの映像資料を活用することもある。 授業中および授業外の課題に関して、授業はじめのフィードバックの時間、あるいはコメントシートへのリプライのかたちでフィードバックを行う。						
アクティブラーニング	○	サービスラーニング			課題解決型学修		
受講条件 前提科目	「フィールドワークの方法Ⅱ」を受講中あるいは受講済みであることを強く勧める。 心身のコンディションが悪い人は事前に相談すること。 実際に海外に行くことを実行した学生のみ単位履修ができる。						
アセスメントポリシー及び評価方法	(1)通常の授業への取り組み(調べ作業と発表、シャロン祭展示会への貢献度など)30% (2)夏休みのフィールドワーク参加態度とフィールドノート作成30% (3)最終報告書40% 注意:公欠の場合でも、課題等の提出がないと(1)の部分が減点される。欠席した場合は、各自資料や課題を確認すること。						
教材	『台湾とは何か』(ちくま新書) 2016年版 著者:野嶋 剛 『台湾を知るための60章』(エリア・スタディーズ147) 2016年版 著者: 赤松 美和子, 若松 大祐						
	台湾については、下記を参照。 『歴史総合パートナーズ 6 あなたとともに知る台湾: 一近現代の歴史と社会―』Kindle版 胎中 千鶴(著) 『これならわかる台湾の歴史Q&A 』2012年版 三橋 広夫(著) 『台湾の若者を知りたい』(岩波ジュニア新書) 2018年版 水野 俊平(著) 『古写真が語る 台湾――日本統治時代の50年 1895―1945』2015年版 片倉 佳史 (著) 『台湾に生きている「日本」』(祥伝社新書149)2009年版 片倉 佳史 (著)						

参考図書	『地球の歩き方』など旅行ガイドブック フィールドワークについては、下記を参照。 新原道信、『旅をして、出会い、ともに考える―大学で初めてフィールドワークをするひとのために』中央大学出版部、2011年 佐藤郁哉、『フィールドワーク? 贈訂版一書をもって街へ出よう』新曜社、2006年 R.エマーソンほか、『方法としてのフィールドノート―現地取材から物語作成まで』新曜社、1998年?
内容・スケジュール	Ⅰ 前期の前半: フィールドワークに対する意義や関連理論に関して、配布資料や映像資料を活用して学習する。 Ⅱ 前期の後半: 訪れる地域(台湾)に関して、指定教材のテキスト発表もしくは小レポート課題を通じて基礎知識を学習する。現地滞在与取材・調査の注意事項や手配などを確認する。訪れた所で各自あるいはグループでテーマと視点を決め、調べ学習や調査計画を練り上げる。 Ⅲ 夏休み中: 約十日間ぐらいの現地訪問をし、現地の人々と関わり、街探検をしながら各自のテーマで観察・インタビューなどを実施する。全員、必ずフィールドノートを記入する。 Ⅳ 後期の前半: 自分の体験や収集した資料、フィールドノート、写真や動画などの調査データを基に、人々に伝えるためにどのようなまとめ方をするのかを探る。まずは学園祭の時に展示会として表現し伝える。 Ⅴ 後期の後半: 各自のテーマで自分の資料や体験に基づいて報告書を作成する。?

Number	GLS-2-011-k	Subject	Field Work(Taiwan)		
Name	張 渭涛(Zhang Wei-tao)	Year and Semester	Full-year for 2020	Credits	4
Course outline	This course aims to encourage students to encounter and experience foreign cultures by both doing research on the targeted region (Taiwan) and directly doing fieldwork. Students will first study the basic knowledge about Taiwan following the textbook and other distributed materials, and then travel to Taiwan for a ten-day field trip. After that students are required to write a study report on a chosen topic on Taiwan.				